

# 申立書（個人用様式）記載例

○この申立書は参考様式ですので、必ずしもお使いにならなくて結構です。

（例 1枚目のみをご使用いただき、以降は東京電力に提出した請求書等で代用可能です）

○記載内容に不備があっても、調査官が聞き取りをしながら手続きを進めますので、ご心配いただかなくても結構です。 **\*マイナンバーは書かないでください！**

和解仲介手続申立書		1枚目	
原子力損害賠償紛争解決センター 宛		申立日 令和〇〇年〇〇月〇〇日	
申立人 *マイナンバーは記載しないでください	代表者	ふりがな <b>ふくしま たろう</b>	生年月日 明・大 〇〇年〇〇月〇〇日 平・令
	氏名	<b>福島太郎</b>	
	その他の申立人	ふりがな <b>ふくしま はなこ</b>	生年月日 明・大 〇〇年〇〇月〇〇日 平・令
	氏名	<b>福島花子</b>	
	ふりがな		生年月日
	氏名		年 月 日
	ふりがな		生年月日
	氏名		年 月 日
	ふりがな		生年月日
	氏名		年 月 日
代表者の住所 または 届所	現在	〒〇〇〇-〇〇〇〇 <b>福島県郡山市〇〇〇〇</b>	
	平成23年 3月11日時点	〒〇〇〇-〇〇〇〇 <b>福島県双葉郡〇〇〇〇</b>	
	代表者とは別の場所にお住まいの申立人がある場合は、その申立人の氏名と住所または居所を6枚目の自由記載欄に記載してください。		
連絡窓口となる方の電話番号等	電話	〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇 FAX ( )	
	携帯電話	〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇 氏名:	
代理人	ふりがな	<b>ふくしま いちろう</b>	代理人の資格
	氏名	<b>福島一郎</b>	<b>長男</b>
	住所等	<b>福島県郡山市〇〇〇〇</b>	
電話番号等	電話	( ) FAX ( )	
	携帯電話	〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇	
郵便物の送付先 (指定通知場所)	<input type="checkbox"/> 代表者の現在の住所地		<input type="checkbox"/> 代理人の住所地等
	<input type="checkbox"/> その他 ( )		
被申立人 氏名または 法人の名称 住所または 本店所在地	東京電力ホールディングス株式会社 (旧商号・東京電力株式会社)		
	〒100-8560 東京都千代田区内幸町1-1-3		
<b>和解の仲介を求める事項及び理由</b>			
申立人と東京電力ホールディングス株式会社の間には、別記のとおり <span style="color: red;">の紛争</span> がありますので、和解の仲介をしてください。			
福島事務所			
(福受) 第		号	

申立書をセンターに提出・送付する日を記載してください。

申立人の氏名・生年月日  
を記載してください。  
申立ての代表者を一番上  
の欄に記載して下さい。  
和解金口座の振込先口座  
の名義人となる方を  
代表者としてください。  
ご家族全員分の申立てを  
まとめて行うなど、  
複数人による申立てを  
まとめて行う場合は、  
その他の申立人欄を  
利用してください。  
※押印は不要です。  
※亡くなった方の氏名は  
記載しないでください。

代表者の現在の住所  
(ご自宅、避難先等)と  
平成23年3月11日時点の  
住所を記載してください。

該当する申立人について  
6枚目9の自由記載欄に  
記載して下さい。

連絡窓口となる方の氏名  
を記載してください。  
携帯電話等、日中に連絡  
のとれる番号についても  
記載してください。

ご家族(父母・子等)  
などが代理人となって  
申立てを行う場合に  
記載してください。  
代理人がいる場合に  
必要となる委任状や  
戸籍謄本等は後日送付  
することもできます。

センターからの郵便物を  
受け取ることができる  
場所をチェックして  
ください。

**平成28年4月1日より  
被申立人は『東京電力  
ホールディングス株式  
会社』ですが、旧社名  
(東京電力株式会社)  
でも手続上の問題は  
ありません。**

申立書の記入は黒か青のボールペンを使用してください。  
こすると消えるペンは使用しないでください。

- 以下、申立てをしようとする損害項目についてのみ記載いただければ結構です。
- どこに記載したらよいかわからない場合は、「8 そのほかにかかった費用の賠償として」の欄あるいは「9 その他参考になると思うこと、…」の欄に記載してください。
- 書くところが足りない場合は、紙を付け足して記載してください。

(個人用様式)

該当する口にチェックしてください。※はなるべく記載してください。  
書くところが足りないときは、紙を付け足して記載してください。

2枚目

### 紛争の問題点

- 東京電力が示した賠償案では納得できません。
- 東京電力が作成した請求書ではよくわかりません。
- その他

### 話し合いの経過

- これまで東京電力に対して、損害賠償請求をしたことは
- あります。  
 ※「あります」を選択された方へ  
 東京電力へ提出した請求書・証拠資料等をセンターが取り寄せ、手続で利用することに  
 同意します。
  - ありません。
- これまで東京電力から、賠償金等を受け取ったことは
- あります。
  - ありません。

センターを御利用するにあたって、東京電力との損害賠償の話し合いがうまく進まない理由や、これまでの話し合いの経過等について、あてはまる内容にチェックしてください。

### 早期一部支払 (東京電力が答弁書で賠償を認める部分について先行して和解し、支払いを受ける手続き) を

- 希望します。

早期一部支払を希望する場合はチェックしてください。

### ※ 避難の有無についてお尋ねします。

- 避難しました。
- 避難しませんでした。

避難したときの、避難に要した交通費、宿泊費、家財道具の移動費用等を記載してください。

### 1 避難にかかった費用の賠償として

- 円の支払いを希望します。
- 妥当な額の支払いを希望します。

避難の内容、かかった費用は次のとおりです。

損害金額について自分で算定することができない場合は、センターが算出しますので、「妥当な額の支払いを希望します。」にチェックしてください。

※ 避難先 ①場所 \_\_\_\_\_ 平成・令和\_\_\_\_年\_\_月\_\_日～  
 \_\_\_\_\_ 平成・令和\_\_\_\_年\_\_月\_\_日

移動方法  自家用車  バス・鉄道など  その他 ( )

②場所 \_\_\_\_\_ 平成・令和\_\_\_\_年\_\_月\_\_日～  
 \_\_\_\_\_ 平成・令和\_\_\_\_年\_\_月\_\_日

移動方法  自家用車  バス・鉄道など  その他 ( )

③場所 \_\_\_\_\_ 平成・令和\_\_\_\_年\_\_月\_\_日～  
 \_\_\_\_\_ 平成・令和\_\_\_\_年\_\_月\_\_日

移動方法  自家用車  バス・鉄道など  その他 ( )

(避難先が3か所を超える場合は、適宜別紙を付け足して記載してください。)

- 交通費 \_\_\_\_\_ 円
- 宿泊費 \_\_\_\_\_ 円
- その他(謝礼、引越し費用など) \_\_\_\_\_ 円

- これを証明する証拠資料があります。

損害額算定等のために必要な証拠書類(領収書、証明書等)があれば提出してください。

領収書やレシート等の証拠書類が残っていても、申立ては可能です。

ただし、手続き中、事情をお伺いしたり、補うための資料等の提出を求められたりすることがあります。

該当する口にチェックしてください。※はなるべく記載してください。  
書くところが足りないときは、紙を付け足して記載してください。

## 2 生活費が増加した分の賠償として

- \_\_\_\_\_ 円の支払いを希望します。
- 妥当な額の支払いを希望します。

※ 新たに買い直したもの、必要なので買ったものは次のとおりです。

( \_\_\_\_\_ )

※ 生活費が増えた原因

- 野菜・米・魚介類などの自給自足ができなくなった
- 二重生活で、家族に会うための交通費がかかった／水道光熱費が増えた
- その他

( \_\_\_\_\_ )

これを証明する証拠資料があります。

避難生活等において、生活費が増加した分の賠償を求める場合は記載してください。

## 3 一時立入りで家に帰ったときの費用の賠償として

- \_\_\_\_\_ 円の支払いを希望します。
- 妥当な額の支払いを希望します。

※ 立入りの回数 \_\_\_\_\_ 回

※ 立入りの方法  自家用車  その他 ( \_\_\_\_\_ )

※ 移動した区間 ( \_\_\_\_\_ ⇄ \_\_\_\_\_ )

※ 宿泊  無  有 ( 場所 \_\_\_\_\_ 宿泊費 \_\_\_\_\_ 円 )

※ 家具等の移動  無  有 ( かった費用 \_\_\_\_\_ 円 )

これを証明する証拠資料があります。

市町村が実施する「一時立入り」等に参加するために要した交通費、宿泊費、家財の移動費用等を記載してください。

該当する□にチェックしてください。※はなるべく記載してください。  
書くところが足りないときは、紙を付け足して記載してください。

#### 4 精神的な損害および令和4年12月に見直された 中間指針（第五次追補）で示された損害の賠償として

円の支払いを希望します。

妥当な額の支払いを希望します。

※ 次のような事情がありました。

避難区域（第一原発の半径20km圏内・第二原発の半径10km圏内）から避難した

故郷を失った／故郷が大きく変わってしまった

放射線量の高い地域に一定期間滞在した

自主的避難等対象区域から避難した／同区域に滞在した／同区域に避難した

※ 避難生活中、次のような事情があり、精神的苦痛が増えました。

介護を必要としていた  身体または精神に障害があった

家族の介護をした  重度または中等度の持病があった

妊娠中だった  乳幼児（未就学児）の世話をした

家族がばらばらになった  避難所を転々とした

定期的に受けていた治療が受けられなくなった／薬が手に入らなかった

その他

[ ]

これを証明する証拠資料があります。

避難等により、正常な日常生活の維持・継続が長期間にわたり著しく阻害されたために生じた精神的損害や自主的避難にかかる損害などを記載してください。

追加賠償（第五次追補）の請求を希望される方は項目4の上部2つの□のいずれかにチェックしてください。

#### 5 収入がなくなった（減った）ことの賠償として

円の支払いを希望します。

妥当な額の支払いを希望します。

※ 原発事故当時の勤務先の名称 ( )

※ 原発事故当時の平均的な収入 平均月収 約\_\_\_\_\_円

※ 減った額 約\_\_\_\_\_円

※ 収入が減った期間 \_\_\_\_\_ヶ月間

これを証明する証拠資料があります。

本件事故により、勤務先が廃業を余儀なくされたため、または、避難先が勤務先から遠方となったため、就労ができなくなった場合等の給与の減収額等を記載してください。

該当する口にチェックしてください。※はなるべく記載してください。  
書くところが足りないときは、紙を付け足して記載してください。

### 6 営業ができなくなったり、売上げが減った (なくなった) ことの賠償として

円の支払いを希望します。

妥当な額の支払いを希望します。

事業の内容 ( )

※ 減った売上額 \_\_\_\_\_円

※ 減った期間 平成・令和\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日～平成・令和\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

※ 追加で必要になった費用 \_\_\_\_\_円

※ 減った原因

避難指示区域等で事業を営んでいた  風評による被害

間接的な被害(上の2つによる被害者と一定の経済的関係にあった)

その他

( )

これを証明する証拠資料があります。

個人で事業を営んでいる方において、本件事故に伴い取引先との取引が減少・停止したことにより減少した売上額や、その期間、追加で必要になった費用等を記載してください。

### 7 所有している物の価値が下がった(なくなった) ことの賠償として

円の支払いを希望します。

妥当な額の支払いを希望します。

※ 価値が下がったりしたと考える物は次のとおりです。

土地 (支払いを希望する額\_\_\_\_\_円)

建物 (支払いを希望する額\_\_\_\_\_円)

家財 (支払いを希望する額\_\_\_\_\_円)

その他の物

( )

これを証明する証拠資料があります。

財物(土地、建物、家財等)について、避難により管理できなくなったり、放射性物質にさらされて価値が下がったりした場合等の財物の価値喪失額等を記載してください。

該当する口にチェックしてください。※はなるべく記載してください。書くところが足りないときは、紙を付け足して記載してください。

### 8 そのほかにかかった費用の賠償として

円の支払いを希望します。

妥当な額の支払いを希望します。

※ 求める費用は次のとおりです。

放射線検査(□人 □物)や除染のための費用 \_\_\_\_\_円

放射線測定器(ガイガーカウンター)の購入費用 \_\_\_\_\_円

避難生活中などにおける治療(□病気 □けが)にかかった費用

(□入院 □通院)の期間 \_\_\_\_\_日

\_\_\_\_\_円

避難終了後、自宅に帰るときにかかった費用 \_\_\_\_\_円

その他

{

}

これを証明する証拠資料があります。

1～7以外のもの(例 検査費用、治療費や薬代等の生命・身体的損害、帰宅費用など)について損害があれば、記載してください。

どこに記入すべきか不明な損害項目があれば、この欄に記載してください。

その他、手続の進め方に関する希望などを自由に記載してください。

**センターの手続きにマイナンバーは不要ですので、申立書に記載しないでください。**

### 9 その他参考になると思うこと、手続の進め方に関する希望など、自由にお書きください。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

代表者とは別の場所にお住まいの申立人がいる場合は、その申立人の氏名と住所または居所を記載してください。

担当者からの電話連絡を受けるのに都合のよい時間帯があれば記載してください。

- 電話連絡は \_\_\_\_\_ 時頃が都合がよいです。
- 相続が発生しています。  申立人を追加する可能性があります。
- 詳細な損害状況は担当者にお話します。
- 証拠資料は手元にないので指示のあったものを後日提出します。

相続の発生や、申立人の追加の予定など、あてはまるものがあればチェックしてください。

○このほか、申立書の書き方等でわからないところがあれば、ADRセンターまでお気軽にお電話ください。

**☎0120-377-155** 受付時間：平日10時～17時

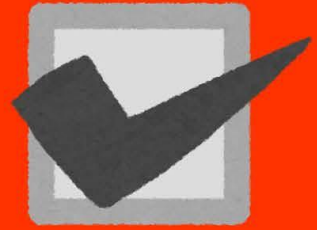


# 追加賠償（第5次追補）の 請求を希望される方は

申立書の項目4の

上部2つの□のいずれかに

チェックをしてください



4 精神的な損害および令和4年12月に見直された  
中間指針（第五次追補）で示された損害の賠償として

円の支払いを希望します。

妥当な額の支払いを希望します。

※ 次のような事情がありました。

避難区域（第一原発の半径20km圏内・第二原発の半径10km圏内）から避難した

故郷を失った／故郷が大きく変わってしまった

放射線量の高い地域に一定期間滞在した

自主的避難等対象区域から避難した／同区域に滞在した／同区域に避難した

※ 避難生活中、次のような事情があり、精神的苦痛が増えました。

介護を必要としていた

身体または精神に障害があった

家族の介護をした

重度または中等度の持病があった

妊娠中だった

乳幼児（未就学児）の世話をした

家族がばらばらになった

避難所を転々とした

定期的に受けていた治療が受けられなくなった／薬が手に入らなかった

その他

{

これを証明する証拠資料があります。

当てはまる事情があれば  
追加でチェック



提出前にもう一度ご確認を